

優良技術者説明書

工事番号	改整第5号	工事名	配水管入替3-5工区(開削)工事
施工場所	荒町 地内	請負金額	56,243,000円
工期	自 令和3年8月5日 至 令和3年12月10日		
施工業者	株馬場工務店	代表者	代表取締役 馬場 義人
現場代理人	此村 孝之	主任(監理)技術者	此村 孝之
【工事概要】 配水管入替工事 PEP φ 150 L=315.4m 排泥管 PEP φ 150 L=1.4m HIVP φ 150 L=2.0m PEP φ 50 L=6.3m HIVP φ 50 L=5.8m 消火栓接続工事 PEP φ 75 L=11.6m 給水管改造工事 φ 20~50…10件 試掘工 一式 既設管撤去工事 DIP φ 150 L=136.2m	一次下請内容	工種	舗装版切断 汚泥処理工事
		"	区画線工事
		"	不断水分岐工事
		"	交通誘導
		"	舗装工事
		業者数	5社
下請率			
成績評定点	85点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 既設の横断水路を下越しする際に水路のクラックから漏水を確認したため、漏水を最小限に抑えるためコルゲート管(φ350)を敷設し仮配水を行いながら作業を行った。また、国道部を夜間施工で行ったため、交通量が多く見通しも悪いことから、施工箇所の前後に交通規制車を設置し工事の周知を行うことで、事故無く工事を完成させた。</p> <p>【総括監督員】 国道部分の工事が夜間施工に変更となったが、近隣への事前周知や交通規制車両を設置することにより安全を確保した。また、水路越し配管の際、仮設管を敷設することにより、工事の進捗をスムーズに行い、工期に余裕を持って工事を完了した。</p>
--------------------	---

【説明を補足する写真、図面、略図】



既設横断水路からの漏水を抑えるための仮排水工(コルゲート管φ350)



国道部夜間施工時の交通規制車配置状況

優良技術者説明書

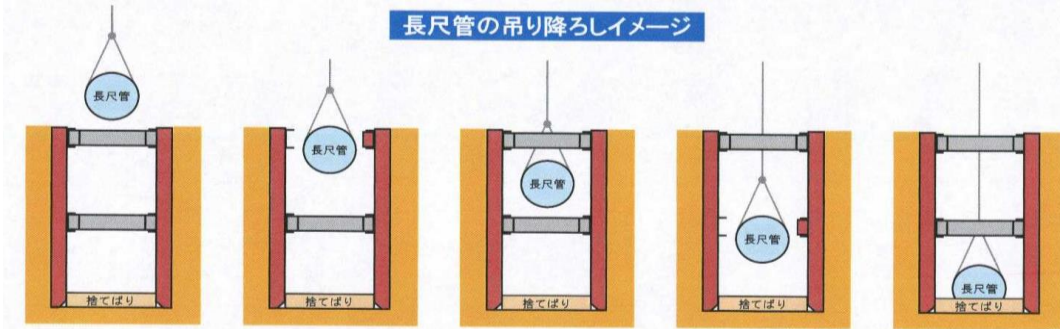
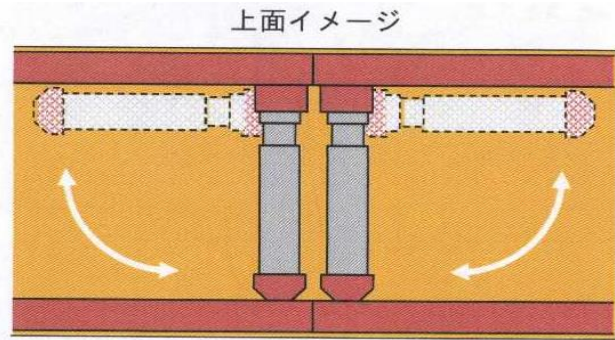
工事番号	改整第1号	工事名	配水管入替3-1工区(開削)工事
施工場所	豊町3丁目	請負金額	96,272,000円
工期	自 令和 3年 9月14日 至 令和 4年 3月31日		
施工業者	新菫工業 株式会社	代表者	代表取締役 荒井 英之
現場代理人	島津 稔	主任(監理)技術者	島津 稔
【工事概要】 配水管入替工事 DIPNS φ 400 L=450.7m (排泥)DIPNS φ 150 L=2.1m , HVP φ 150 L=1.6m DIPNS φ 250 L=9.4m DIPNS φ 150 L=7.2m	一次下請内容	工 種	配管・土工・試掘工事
		〃	仮設・試掘工事
		〃	舗装切断工事
		〃	ジ・メンス設置工事
		〃	不断水分岐工事
			舗装復旧工事
			交通誘導警備 2社
		業者数	8社
下請率			
成績評定点	82点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
 ① 土留工において、アルミ製水圧シリンダ-をスイングさせる事で、土留の安全性を保持したまま水道管を水平に吊り降ろす事が可能な「パイプライン敷設用パネル土留(スイングパネル)」を使用し、大幅な作業効率の向上が図れた。
 ② 水中ポンプの排水を一旦簡易ノッチ箱に入れ、地下水に混入した砂等を沈下させ、上部の上水のみ排水することで側溝内への砂等流入防止対策を行った。

【総括監督員】
 ① 工事着手前に交通規制等のお知らせを配付し、積極的に付近住民とコミュニケーションを図り、安全に工事を完了した。
 ② 隣接する他の工事と積極的に工程調整や交通規制等の打ち合わせを行い、工程に無駄もなく適切に工事を完成させた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



① 土留工において、アルミ製水圧シリンダ-をスイングさせる事で、土留の安全性を保持したまま水道管を水平に吊り降ろす事が可能な「パイプライン敷設用パネル土留(スイングパネル)」を使用し、大幅な作業効率の向上が図れた。



② 水中ポンプの排水を一旦簡易ノッチ箱に入れ、地下水に混入した砂等を沈下させ、上部の上水のみ排水することで側溝内への砂等流入防止対策を行った。

優良技術者説明書

工事番号	下複第3号	工事名	新発田東部処理分区(t183-2他)管渠工事	
施工場所	東新町1丁目 地内	請負金額	104,918,000円	
工期	自 令和3年8月30日 至 令和4年3月25日			
施工業者	㈱石井組	代表者	代表取締役社長 石井 和郎	
現場代理人	小山 健二	主任(監理)技術者	小山 健二	
【工事概要】 施工延長 L=283m 推進工(低耐荷力)φ350 L=10m φ300 L=154m φ200 L=30m 開削工φ350 L=22m φ200 L=40 φ150 L=10m レジンマンホール工 3号 N=1基 1号 N=1基 マンホール工(抗菌)2号 N=1基 1号 N=2基 1号マンホール工 N=5基	一次下請内容	工種	推進・マンホール工	
		〃	立坑築造工	
		〃	開削工	
		〃	インバート工	
		〃	舗装工	
		業者数	6社	
下請率				
成績評定点	82点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 教育施設の近郊であり交通量の多い幹線道路を規制する工事であったこと、関連工事との工程調整を主体的に行うことによりトラブルなく工事を終えることができた。 また、品質、出来形、安全管理において秀でていたことは他の模範とするところである。			
	【総括監督員】 本工事は交通量の多い市道(街路)が施工場所で近接する下水道工事も発注されていたが、他工事と調整を図り、安全管理を適切に実施し施工していた。また、主任監督員と公共ますの設置に尽力していた。工事書類は管理項目別に分類し、分冊して、インデックスの色分け、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでおり、見やすく理解しやすい書類であった。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



先導管到達及び貫通



開削状況



交通規制状況